

平成29年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小 論 文

教育学部 学校教育教員養成課程
小学校教育コース 教科教育専攻
美術教育専修

注 意 事 項

1. 受験番号を、解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答時間は、120分である。
4. 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけない。
5. 鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

今朝、大宜味村からトラック一杯の「カラギの葉」が届きました。
これを用いて、小学生と一緒に、ユニークな遊びを提案しなさい。
また、この遊びでどのような感性がはぐくまれるかを推測し論じなさい。

注意事項

1. 「カラギの葉」は自由に加工してもよいし、そのまま用いてもよい。
2. 「カラギの葉」以外に他の物を併せて使ってもよい。
3. 遊ぶ場所は限定しない。
4. 小学生の人数や性別、年齢構成は自由。
5. 遊びは幾つ解答してもよい。
6. 絵や図を描いて説明を補ってもよい。
7. 字数や解答用紙の枚数に制限はないが、No. 欄に通し番号を記入すること。

平成29年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程
小学校教育コース 教科教育専攻
美術教育専修

出題の意図

教育学部のアドミッションポリシーでは、教育という営みの本質を学びつつ、主として学校教育に関わる今日的な問題に真剣に取り組もうとする、「教員として主体性を持ち、子ども及び社会と関わっていきたい人」「教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人」「高等学校での基礎学力を身につけ、思考力、判断力、表現力を持つ人」「沖縄の歴史的・地理的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育に関わりたい人」を求めている。その中でも、特に図工・美術教育での適性を見るために、小論文においては「発想力や鑑賞力、造形教育への関心度」を見ることにしている。

本問では、実際に「カラギの葉」を受験生に配布する。その「カラギの葉」の色や形を見たり（視覚）、触れてその感触を確かめたり（触覚）、そのとき発する音を聞いたり（聴覚）、匂いを嗅いだり（嗅覚）、場合によっては舐めたり噛んだり（味覚）という生の体験から、①この素材の魅力を感じ取り感動し、子どもがこの素材に向かい合った時にどのような反応があるのかを想像することが出来るかどうか、②これらの体験や想像を統合して、ユニークな遊びを発想できるか、③そして、この遊びを通して、子どもたちにどのような変化が起こるかを想像し、はぐくまれる感性について推測し論じられるか、を見る。